



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 昭和真空
コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0392

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,535	37.5	139		117		105	
2023年3月期第3四半期	7,262	12.8	725	34.3	762	32.0	554	31.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 24百万円 (96.4%) 2023年3月期第3四半期 691百万円 (27.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	17.06	
2023年3月期第3四半期	89.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	14,461	11,109	76.8	1,803.34
2023年3月期	15,467	11,519	74.5	1,870.14

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,109百万円 2023年3月期 11,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		70.00	70.00
2024年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,358	17.5	146	85.7	169	84.3	90	88.5	14.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	6,499,000 株	2023年3月期	6,499,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	338,749 株	2023年3月期	339,449 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	6,159,840 株	2023年3月期3Q	6,158,651 株

2024年3月期3Qの期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式68,100株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件などについては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11
3. 補足説明	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東地域をめぐる情勢悪化、資源や原材料価格の高止まり、各国のインフレ抑制に向けた金融引き締めに伴う景気後退懸念など、不確実性が高い状況が続きました。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」)の影響による行動制限が緩和され、経済活動が正常化する中、各種政策効果などにより緩やかな回復が続きましたが、世界情勢の緊迫化や中国経済の先行き懸念、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、世界的な金融引き締めなどを背景とした海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、主要取引先電子部品メーカーの在庫調整は進展しているものの、生産回復のペースは緩やかであり、設備投資に対する姿勢は低調な状態が継続しました。

こうした環境の中、当社グループは、生産性やメンテナンス性を大幅に向上させた新型光学用装置や今年度市場投入した従来当社が対応していなかった工程向けに開発した水晶デバイス装置の販売促進、主要取引先電子部品メーカーの次世代製品開発や省人化・自動化などによる生産性向上ニーズへの対応、新規先電子部品メーカーへの積極的な営業活動に取り組みました。また、顧客からの依頼実験やサンプル成膜依頼に迅速、かつ積極的に取り組み、引合い案件の増加に努めましたが、想定以上に受注は低調となりました。

生産面では、期初受注残及び受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努めましたが、顧客事情による納品スケジュールの後倒しや大幅仕様変更による受注額減額の発生が売上高に影響しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高は31億82百万円(前年同四半期比50.9%減)、売上高は45億35百万円(同37.5%減)となりました。

損益につきましては、経常損失1億17百万円(前年同四半期は7億62百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億5百万円(前年同四半期は5億54百万円の利益)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は14億55百万円(前年同四半期比68.9%減)、売上高は28億9百万円(同48.5%減)、セグメント利益は1億70百万円(同83.3%減)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、スマートフォンや基地局など通信分野向けの需要回復が遅れていることを受け、デバイスメーカーの設備稼働率が低調に推移したため、増産設備投資発注には至らず、次世代製品向けや既存生産ラインの更新投資についても先送り姿勢が強まりました。売上高に関しては、顧客事情などによる納品スケジュールの後倒しや大幅仕様変更による受注額減額案件の発生が影響を及ぼしました。

水晶デバイス装置の受注高は14百万円(前年同四半期比98.5%減)、売上高は14億65百万円(同28.3%減)となりました。受注高については、第1四半期に受注済装置の顧客要請に基づく大幅仕様変更による3億63百万円の受注額減額がありました。

(光学装置)

光学業界では、世界のスマートフォン出荷台数に回復の兆しはあるものの、スマートフォンを含む最終製品需要の回復が緩やかであることを受け、デバイスメーカーの設備投資姿勢は低調に推移しました。売上高に関しては、顧客事情による納品スケジュールの後倒しや大幅仕様変更による受注額減額案件の発生が影響を及ぼしました。

光学装置の受注高は2億22百万円(前年同四半期比89.5%減)、売上高は3億85百万円(同85.1%減)となりました。受注高については、第2四半期に受注済装置の顧客要請に基づく大幅仕様変更による89百万円の受注額減額がありました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、新規市場の開拓を継続的に行うとともに、顧客との共同開発やサンプル成膜依頼に積極的に取り組むことを通じて受注獲得に努めましたが、引合い案件の受注時期の後倒し傾向が強まりました。売上高に関しては、装置納品時の検収作業などの遅延による納品スケジュールの後倒し案件の発生が影響を及ぼしました。

電子部品装置・その他装置の受注高は12億18百万円（前年同四半期比23.6%減）、売上高は9億57百万円（同17.4%増）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期的な稼働状況確認による潜在ニーズの掘り起こし及び生産性向上提案による装置の改造・修理や消耗品の販売に努めましたが、顧客工場の稼働率低下などにより消耗品の販売が低調に推移しました。一方で、第2四半期までに光学デバイスメーカーの生産性向上ニーズに係る大口改造工事の売上計上がありました。

サービス事業の売上高は17億26百万円（前年同四半期比4.6%減）、セグメント利益は4億57百万円（同10.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は106億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億78百万円減少しました。これは主に現金及び預金が7億64百万円増加したものの、売掛金が15億89百万円減少したことによるものです。固定資産は37億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億28百万円減少しました。これは主に減価償却により機械装置及び運搬具が98百万円、工具器具備品が28百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は144億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億6百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は22億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億42百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が2億59百万円、電子記録債務が2億22百万円、未払費用が1億4百万円、賞与引当金が73百万円減少したことによるものです。固定負債は10億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が27百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は33億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億96百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は111億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億10百万円減少しました。これは主に利益剰余金が5億41百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は76.8%（前連結会計年度末は74.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2023年11月13日付「2024年3月期 第2四半期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

当社グループを取り巻く市場動向を注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,805,249	5,569,302
受取手形	716,225	524,562
売掛金	2,617,847	1,028,166
商品及び製品	2,009	1,894
仕掛品	2,742,100	2,856,947
原材料及び貯蔵品	505,374	520,476
その他	189,670	200,014
貸倒引当金	△1,562	△2,690
流動資産合計	11,576,914	10,698,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,018,517	961,277
機械装置及び運搬具(純額)	201,194	102,513
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	10,704	3,945
その他(純額)	144,263	129,933
有形固定資産合計	3,345,242	3,168,232
無形固定資産		
リース資産	4,308	3,338
その他	37,941	38,995
無形固定資産合計	42,249	42,334
投資その他の資産		
投資有価証券	225,864	267,389
繰延税金資産	202,503	212,633
退職給付に係る資産	49,919	48,168
その他	25,562	23,864
貸倒引当金	△279	△279
投資その他の資産合計	503,571	551,775
固定資産合計	3,891,063	3,762,342
資産合計	15,467,977	14,461,015

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	846,705	587,688
電子記録債務	1,226,567	1,004,029
短期借入金	49,908	-
リース債務	8,179	11,345
未払費用	273,039	168,048
未払法人税等	43,424	45
前受金	113,123	297,219
賞与引当金	156,005	82,595
役員賞与引当金	79,000	-
製品保証引当金	50,000	41,000
工事損失引当金	22,900	6,200
その他	65,152	93,603
流動負債合計	2,934,005	2,291,776
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	100,000	104,452
リース債務	9,891	21,068
退職給付に係る負債	328,724	355,933
株式給付引当金	50,953	53,458
長期未払金	75,170	75,288
固定負債合計	1,014,740	1,060,199
負債合計	3,948,745	3,351,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,793,805
利益剰余金	6,496,826	5,955,768
自己株式	△316,897	△315,927
株主資本合計	11,150,838	10,610,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,521	138,405
為替換算調整勘定	251,703	359,498
退職給付に係る調整累計額	168	384
その他の包括利益累計額合計	368,392	498,287
純資産合計	11,519,231	11,109,039
負債純資産合計	15,467,977	14,461,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	7,262,484	4,535,682
売上原価	5,053,367	3,320,427
売上総利益	2,209,117	1,215,255
販売費及び一般管理費	1,483,237	1,354,870
営業利益又は営業損失(△)	725,879	△139,615
営業外収益		
受取利息	7,675	8,351
受取配当金	3,838	3,237
受取賃貸料	1,731	1,663
保険配当金	17,724	-
補助金収入	10,396	3,533
為替差益	-	5,611
その他	2,912	2,435
営業外収益合計	44,278	24,834
営業外費用		
支払利息	1,937	859
支払保証料	1,156	961
為替差損	3,974	-
その他	1,070	1,082
営業外費用合計	8,138	2,902
経常利益又は経常損失(△)	762,020	△117,683
特別利益		
投資有価証券売却益	5,788	-
特別利益合計	5,788	-
特別損失		
固定資産除却損	-	512
特別損失合計	-	512
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	767,809	△118,196
法人税、住民税及び事業税	157,848	6,378
法人税等調整額	55,911	△19,502
法人税等合計	213,760	△13,123
四半期純利益又は四半期純損失(△)	554,048	△105,073
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	554,048	△105,073

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	554,048	△105,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,805	21,883
為替換算調整勘定	154,508	107,794
退職給付に係る調整額	△154	215
その他の包括利益合計	137,547	129,894
四半期包括利益	691,596	24,821
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	691,596	24,821

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末は95,425千円、68,800株、当第3四半期連結会計期間末は94,454千円、68,100株です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,453,593	1,808,890	7,262,484
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,107	17,262	22,369
計	5,458,701	1,826,153	7,284,854
セグメント利益	1,026,623	510,412	1,537,036

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,537,036
セグメント間取引消去	20,040
全社費用(注)	△831,197
四半期連結損益計算書の営業利益	725,879

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,809,136	1,726,545	4,535,682
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,378	2,136	5,515
計	2,812,515	1,728,682	4,541,197
セグメント利益	170,939	457,752	628,691

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	628,691
セグメント間取引消去	18,577
全社費用(注)	△786,884
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△139,615

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	2,044,473	389,340	2,433,813
光学	2,593,237	757,658	3,350,896
電子部品	815,882	455,274	1,271,157
その他	—	206,617	206,617
顧客との契約から生じる収益	5,453,593	1,808,890	7,262,484
外部顧客への売上高	5,453,593	1,808,890	7,262,484

当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,465,352	291,222	1,756,575
光学	385,891	797,506	1,183,398
電子部品	957,892	532,355	1,490,247
その他	—	105,460	105,460
顧客との契約から生じる収益	2,809,136	1,726,545	4,535,682
外部顧客への売上高	2,809,136	1,726,545	4,535,682

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,465,352	71.7
光学装置	385,891	14.9
電子部品装置	957,892	117.4
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	2,809,136	51.5
サービス事業		
部品販売	656,378	76.8
修理・その他	1,069,316	111.4
サービス事業計	1,725,694	95.1
合計	4,534,831	62.4

(注) 上記の金額は販売価格によっております。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	14,900	1.5	730,777	33.7
光学装置	222,641	10.5	1,365,237	63.7
電子部品装置	1,218,010	76.4	1,415,607	73.5
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	1,455,552	31.1	3,511,622	56.3
サービス事業				
部品販売	657,229	77.2	—	—
修理・その他	1,069,316	111.6	—	—
サービス事業計	1,726,545	95.4	—	—
合計	3,182,097	49.1	3,511,622	56.3

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,465,352	71.7
光学装置	385,891	14.9
電子部品装置	957,892	117.4
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	2,809,136	51.5
サービス事業		
部品販売	657,229	77.2
修理・その他	1,069,316	111.6
サービス事業計	1,726,545	95.4
合計	4,535,682	62.5

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。